

二、別子に於ける組合運動

日本鐵道組合別子支部は大正十三年十月一日の創立に係り当初日本労働総同盟
別子労働組合と稱せられたが大正十四年十月三日其の名籍を現在の如く改められた
のに於て組合員数は大正十四年二月には約十六百名の多数に上りしが同年夏には
僅かに三百名に過ぎざる状態に陥つた。今其の組合員激減の理由を察するに
一、多数の組合員は一時的組織熱に刺戟され勸誘せらるゝが既に無意識的に
二、會社側として冬季に入り運動者の活動停頓したる爲め組合熱冷却したること
三、経済的の不況に鑑み失業を恐れたること
四、組合員側として御用組合的色彩を帯びたる団体も各部落に組織したること
等が組合員を脱退を招き來せしむる如くであつた。
組合事務所は新居浜郡泉川村に在り、組合長は山内鐵吉（日本労働総同盟大股聯
合會長）、會計は鈴木悦次郎（金上會員）
東平支部長小原博吉、端出支部長高橋原太郎、新居浜支部長日原金太郎、
組合の細領は総同盟に同じ、大正十三年十一月一日組合創立總會に於ける決議及
宣言の全文を次に記載する。

決議文

一、我等は今後互に對する總ての問題は別子労働組合全支部共同一致の歩調を
取ることは勿論大股地方に於ける住友全工場労働組合連絡を取るに
一、吾々の今後の組合運動に對して干渉壓迫或は敵首等たりたる場合は別子労働
組合支部に通知し断乎たる態度を執ること。
一、我等は購置機關たる住友親友會を一切信用せず。
一、我等は從來住友別子鉱業所の採りたる偏頗的態度の即時改正を促す。

宣言

美しき温情主義の愈看板も資本主義の發達と共に漸く其板面を取り外れ
見若しき資本主義の正体も遺憾なく表はすに至れり。大敵あり其後引續き
各所に五人或は十人と毎日の如く吾々の兄弟の最も苦痛とする解雇さるゝ者引
きも切らざる状態にて我等労働者として一時たりとも安心して働くこと不能又
先年以來軍需不景氣を口實に貸銀労働條件その他總ての施設待遇の如き一とし
て改善されたるを知らず而も親友會で最も功妙なる購置たるも此親友會で不
吾々の労働者を欺き今回数多労働者の日本労働総同盟に加盟するや此親友會で不
購置機關にて吾等を購置せんとし種々ふる方法手段にて親友會の押賣をせんと
しつゝ、あり吾々は数年間の長い間此親友會を頼りし今回こそ今度こそはと出
來りたけ努力した。然して此の労働者として立場を異にする資本家の走狗との組織
せり親友會は吾々労働者の必要とするものでなく利益のみを得る吾々の労働
階級の向上發展に有害無用の機軸たることを「アツキ」知つた吾々は過去の「三がい」
経験を経てこの愚ふることを知つて居る我々は知つて居る。
住友別子鉱業所は二度此購置機軸を利用してせんとして、あることも又其處には此
際親友會の名を以て吾々の要求事項を承認せんとして努力つゝあることも然し我が
ら吾々は過去の「三がい」経験によりそれは一時的であり決して永久に續くもので
ないことは勿論吾々の労働者の地位及人格向上識見開発労働條件の改善をはかる
者我々労働者自身の組織せる組合であり又それが全心的に総同盟たる日本労働
労働同盟を置つて他に何物もふい、吾々此に別子労働組合を組織し日本労働
総同盟に加盟し労働階級全体の立場より最大多数の最大幸福を得る爲に今後勇
敵に而も着実なる方法を以て益々此運動を續くことを宣言す。

三、御用団体——改善會

大正十三年秋別子労働組合の生るゝや、金山労働者中これに加入する者漸次多数